

## プロジェクト名称

candle night

## プロジェクト活動概要

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけでんきを消して人々にスロウな夜を提供しようと活動を行っています。

2011年3月に東日本大震災が起こり、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを期に人々にでんきの明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考えを増やしてほしいと願っています。そこで私たちは100万人のキャンドルナイトとして日本全国各地で行われているイベントを行います。夏至には表参道で行われるCandle night@omotesandoに参加し、冬至には芝浦工業大学大宮キャンパスでキャンドルナイトを行います。また地域交流として地域の方々にキャンドル教室を開き、ろうそくの身近さを知ってもらう機会を設けます。

## 活動状況報告 & 活動写真など

2012年6月18日～9月30日】

### Candle night@Omotesando eco Avenue 2012

●実施日時: 2012年6月22日(金)

●実施場所: 表参道界隈

●概要: 面出薫氏、佐藤卓氏、竹村真一氏監修のもとデザイン系の学生を始め様々な団体の作品を19時に点灯し、22時までの3時間を来街者の皆さまにキャンドルのあかりでゆったりとした時間を過ごして頂くというものです。街頭での募金活動の他にも募金窓口の一つとしてリサイクルキャンドルを使用した手作りキャンドルをチャリティー販売します。このチャリティーによって得られる資金は、日本赤十字社を通じて東日本大震災被災者の義援金として全額寄付されます。

< インスタレーション > ~夏至~

●設置場所/タイトル: 日本看護協会前大階段/メッセージツリー

●コンセプト

“eco Avenue” というテーマで行われたということもあり、今回の作品は芝浦工業大学大宮キャンパスで捨てられている割り箸を利用した作品を作ろうと考えた。その割り箸を四隅に立て、周りをトレーシングペーパーで覆った灯籠を作品のベースとし、それを表参道の欅並木にちなんでケヤキの木に見えるよう並べた。タイトルがメッセージというのは参加型によるものである。参加者の方々にはクリアファイルに未来へ向けてのメッセージを書いていただき、それらをケヤキの葉の部分の灯籠に入れ、メッセージツリーを彩った。

●イベント当日の状況

今回の作品は、来訪者の方にクリアファイルへメッセージを書いてもらう参加型にしたため、実際に書いてもらえるか心配でした。しかし、日本看護協会前は多くの人々が通過し、予想以上にメッセージを書いていただけました。人の込み具合については、オープニングセレモニーを行ったこともあり、写真を撮る人とメッセージを書く人、その他に展示場所の隣で行われていたワークショップとチャリティーキャンドルの販売の来訪者で満員の状態でした。作品については、大階段のマスゲームを行う時に生じるズレを修正する作業に手間取り、多少の遅れは生じましたが、100%完成することに成功しました。通過していく人々からもお褒めの言葉をいただくことができ、キャンドルナイトの本来の目的である「スロウな夜」を提供できたと思います。参加スタッフ: 美大・専門学校・その他団体8校 計350人(内芝浦工業大学30人)。

チャリティーによって集められた資金: ¥205,725-

●当日のイベント風景



## <オリジナル行燈> ～夏至～

- 概要:今年の Candle night@Omotosando では参加校各 10 点の「行燈」を製作し、当日には 200 個近い作品が表参道を灯していました。各校 10 点のうち優秀作品を 3 点決定し、展示兼審査会も行われました。審査会では選定された優秀作品 21 点の内 3 作品のみ各監修から賞が出されました。
- イベント当日の様子  
インスタレーションが大空間を華やかにしている中、その作品を繋ぐように 200 近い作品が点在している光景は来訪者を飽きさせない風景でした。実際に来訪者の方からお褒めの言葉もいただきました。審査会では芝浦の出した優秀作品の内「季節時計」が面出薫賞を受賞しました。
- 芝浦オリジナル行燈



面出薫賞受賞作品

## ●イベント当日の風景



●Candle night@omotesando eco Avenue 2012 ホームページ: <http://candlelight-omotesando.org/>

## キャンドル教室

●概要：地域交流の一環として行う活動。キャンドルの魅力を知ってもらうにはどうすればいいのか考えた時に、作品を見るのではなく実際に作ってもらえるとより魅力を理解してもらえるだろうと考察しました。基本的には小学生を対象としており、安全性でクリエイティブな作品を作っていただけよう、日々考えています。

<第一回>

●実施場所：大宮キャンパス 4号館

●実施日時：2012年08月10日（金） 10:00～12:30

<第二回>

●実施場所：さいたま市立春野小学校

●実施日時：2012年09月24日（月） 15:30～16:30

●製作作品概要

今回のキャンドル教室は小学生を対象としたものだった。安全面を考慮しつつ独創性のある作品に仕上がる必要があり、さらに与えられた製作時間は1時間もなかったため、より短時間に製作可能である必要もあった。今回使用した材料の「蜜蝋ハニカムシート」は一般的な口と違い、溶かす必要のないものだった。これにより火を使わず短時間での製作可能、さらに加工もしやすく色も豊富なため独創性あふれる作品に仕上がる。

●当日の状況

1年生から5年生まで計30人の子供たちと7人の先生方に集まっていただきました。子供たちは「ハニカムシート」からキャンドルが本当にできるのか不思議そうにしておりスタッフの説明をよく聞きながら夢中になって作っていました。早く作り終えた子供たちからは「もっと作りたい」「まだ終わりがたくない」など嬉しい言葉をいただきました。すべての作品が完成した後、電気を消し全員の作品に火をつけると、子供たちから歓喜と達成感に満ち溢れた表情をいただきました。

●当日の様子



## 今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後の活動として11月2日、3日に我々 candle night はインスタレーションとキャンドル教室、チャリティーキャンドル販売の三つを芝浦祭で行います。インスタレーションではステージイベント終了後、ステージ前からファミリーマート前までキャンドルを灯し、キャンドル独特の光がスローな夜を演出します。続いてキャンドル教室では、実際にキャンドルを作りながらキャンドルの面白さを伝えます。子供からお年寄りまで幅広く楽しんでもらうために多彩なアイデアを用意しています。最後にチャリティーキャンドルでは我々 candle night が作ったキャンドルを販売します。販売で得た収益は全額、赤十字の方に募金させていただきます。キャンドルが一人でも多くの人の幸せやエコなどのキッカケになるよう我々は願っています。次に冬至の日には大宮キャンパスでインスタレーションとキャンドルカフェを行います。昨年の冬至同様、2号館前を主にキャンドルを灯します。1年で最も長い夜を、柔らかい光で演出します。キャンドルカフェでは昨年好評だったギターアンサンブル部とコーヒー研究会とのコラボを考えており、屋外でのカフェスペースをキャンドルの暖かい光が包み込みます。「Candle Night」は芝浦工業大学内、周辺地域の知名度がまだまだ低いことが現状です。これから行っていくイベントを通して学内生、地域住民、さらに他大学生にも認知されるよう印象に残るような作品を作り、芝浦に「Candle Night」の存在を知らせていきます。